

## 平成24年度図書館活動報告

### 1 図書委員会

第1回：平成24年4月18日(水)

- 審議事項（平成23年度図書費決算について、平成24年度図書費予算について）
- 報告事項（平成24年度図書委員会開催予定日について、平成23年度購入基本図書について、選書協力依頼について、図書館自己点検・評価委員会委員（規程第5条第3号に規定する委員）の選出について、大阪大学附属図書館との協定について）

第2回：平成24年5月16日(水)

- 審議事項（図書委員会における代理出席の取扱いに係る申し合わせについて）
- 報告事項（平成24年4-5月の高額資料の購入について、駐日欧州連合（EU）代表部によるPRイベントEU IN JAPAN ROADSHOW「EUがあなたの街にやってくる」の実施協力について）

第3回：平成24年6月20日(水)

- 審議事項（「関西大学図書館規程」の一部改正について、逐次刊行物等の購入希望について）
- 報告事項（計画停電実施時における図書館の対応について、入試期間中の図書館利用について）
- その他（平成25年度図書費予算申請の手続きについて、閲覧室でのコンセントの使用について）

第4回：平成24年7月18日(水)

- 審議事項（逐次刊行物等の購入希望について、平成25年度図書費予算の申請について）
- 報告事項（平成24年6月の高額資料の購入について、平成24年度大学評価実地調査への対応について、ミューズ大学図書館高木文庫コーナー設置について）
- その他（計画停電について、図書の購入希望について）

第5回：平成24年9月19日(水)

- 審議事項（平成25年度図書費予算の申請について）
- 報告事項（資料受入申請に対する審議方法の変更について）
- その他（平成24年度大学評価実地調査に伴う図書館視察について、私立大学図書館協会主催国際図書館協力シンポジウムの開催について、別置資料の地下2階書庫への復帰について、図書委員からの質問及び事務局からの回答について）

第6回：平成24年10月17日(水)

- 審議事項（逐次刊行物等バックナンバーの購入希望について）
- 報告事項（図書費執行状況について、図書館無線

LANのの設置について、平成24年9-10月の高額図書資料の購入について、学園祭期間中の図書館の閉館について、「関大防災Day2012～広がれ！みんなの安全・安心！～」実施日の対応について）

- その他（堺キャンパス図書館における閉館時間延長について、ミューズ大学図書館資料のカビ発生について、平成25年度基本図書の推薦について）

第7回：平成24年12月19日(水)

- 審議事項（逐次刊行物等の10-11月分購入希望について、平成25年度図書館開館日程について、ベルギー・ルーヴェン大学図書館との相互協力覚書の締結について）
- 報告事項（平成25年度図書費予算について、平成24年度図書費執行状況について、平成24年10-11月購入の高額資料について、総合図書館書庫資料移動作業について、総合図書館グループ閲覧室の運用変更について、平成25年度 関西大学図書館 市民利用の募集について）
- その他（学認（学術認証フェデレーション）を利用した学外からのDB利用について）

第8回：平成25年1月29日(水)

- 審議事項（平成24年度補正予算申請に伴う平成25年度基本図書の一部前倒し選定について（持ち回り審議）

第9回：平成25年2月20日(水)

- 審議事項（平成24年度補正予算申請に伴う平成25年度基本図書の一部前倒し選定について、平成25年度基本図書の選定について）
- 報告事項（2013年度図書館ガイダンス実施計画案について、平成24年度12月購入の高額資料について、平成24年度図書費予算執行状況について）
- その他（大学一般入試期間中の総合図書館の利用について、各キャンパス図書館（室）の見学について）

### 2 図書館自己点検・評価委員会

平成24年度は前年度に大学基準協会に提出した関西大学自己点検・評価報告書に基づき、同協会による大学評価を受審した。

また本委員会は上記実地調査に対応するとともに、6回の会議を開催し、統計データに基づき、次の4つの項目について検証した。

- ① 図書館の利便性は向上しているか
- ② 4図書館体制における利用環境の充実・利便性の向上

③ 学術情報の電子化の流れと4図書館体制のもとでの  
取書方針と図書館図書費

④ 場としての図書館・図書館の発信機能

このことにより、次回大学評価にむけて、図書館評価の  
ための新しい評価指標と統計項目の成案を得た。

第1回：平成24年4月18日(休)

- 審議事項（2012年度認証評価実地調査に向けた取り  
組みについて、今後の日程について）
- 報告事項（2011年度自己点検・評価報告書について、  
「図書館のありかた検討プロジェクト」における検討  
事項の報告）

第2回：平成24年5月16日(休)

- 審議事項（図書館自己点検・評価について）

第3回：平成24年6月20日(休)

- 審議事項（図書館自己点検・評価のための新たな評価  
指標について、現在の評価指標について）
- 報告事項（平成24年度大学評価実地調査の日程につ  
いて）
- 懇談事項（図書館の将来構想を検討する場について）

第4回：平成24年7月18日(休)

- 審議事項（大学評価実地調査に向けて設定した新たな  
評価指標とそれに基づき作成した統計データについて、  
今後の日程について）

第5回：平成24年12月19日(休)

- 審議事項（大学評価のための図書館評価指標の設定に  
ついて）
- 報告事項（大学評価実地調査について、今後の日程に  
ついて、次回大学評価について）

第6回：平成25年2月20日(休)

- 審議事項（大学評価のための図書館評価指標案一覧に  
ついて）
- 報告事項（大学評価結果〔委員会案〕に対する意見の  
提出について）

### 3 図書館諸会議

図書委員会開催の前週水曜日に図書館長と図書館職員で  
「図書館会議」を開催し、次回図書委員会事項等を協議し  
ている。また、毎週火曜日に図書館職員による「図書館運  
営会議」を45回開催した。

### 4 関西四大学図書館長会議

- 開催日：平成24年9月10日(月)
- 場 所：関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス 大学図  
書館
- 出席者：関西大学、関西学院大学、同志社大学、立命館  
大学

(1) 報告事項

- ① 関西四大学図書館連絡会（2012.7.3開催）につ

いて

② 関西四大学図書館相互利用担当者会（2012.9.10  
開催）について

③ 関西四大学図書館職員研修会（2012.11.28開催  
予定）について

(2) 近況報告・情報交換

- ① 2012年度図書館図書資料費予算について
- ② 電子情報の利用および発信について
- ③ 利用者サービスについて
- ④ 課題および将来計画について
- ⑤ その他

### 5 第33回（2012年度）EUiセミナーへの参加

- 会期：平成24年10月11日(休)～12日(金)
- 会場：琉球大学50周年記念館

### 6 セミナー・講習会等の開催

図書館利用者教育の一環として、各種ガイダンスを実施  
した。

○「入門ガイダンス」

総合図書館をこれから利用する新入生のクラスを対象  
に総合図書館の使い方を説明した。

- 実施期間：春学期4月9日(月)～6月30日(土)

秋学期9月21日(金)～11月30日(金)

○「活用ガイダンス（定型内容による実施）」

雑誌や新聞に掲載される論文や記事の検索を中心に、  
定番の各種データベースやオンラインジャーナルの利用  
方法を説明した。

- 実施期間：春学期4月9日(月)～6月30日(土)

秋学期9月21日(金)～11月30日(金)

○「活用ガイダンス（自由選択方式による実施）」

前述の「定型内容」では取り上げない特定の専門分野  
のデータベース（例：判例データベース、理工系学部向  
けのデータベース等）についての18種類のガイダンス  
項目を組み合わせ、内容をカスタマイズできるガイダ  
ンスを実施した。

- 実施期間：春学期5月28日(月)～6月30日(土)

秋学期9月21日(金)～11月30日(金)

○「図書館プチゼミ」（自由参加型ガイダンス）

自由参加方式による小規模のガイダンス（約15分）  
を実施した。

- 内容

データベースの利用法の説明（14種類）、および書庫  
ツアー

- 実施期間

総合図書館：春学期6月1日(金)～6月29日(休)

秋学期10月9日(火)～26日(金)、

11月20日(火)～30日(金)

高槻図書室：10月15日(月)～26日(金)

11月12日(月)～16日(金)

堺キャンパス図書館：

10月23日(火)～26日(月)

11月12日(月)～16日(金)

ミュージズ大学図書館：

11月26日(月)～12月6日(木)

## 7 展示会

於：総合図書館展示室

○日・EUフレンドシップウィーク展示「LOVE LETTER from Europe ヨーロッパ著名人たちのラブレター」

(1) 会期：平成24年5月28日(月)～6月11日(月)

(6月5日(火)除く)

(2) 来場者数：487人

○学内機関主催による展示

(1) タイトル：「織田作之助と『大阪』」

会期：平成24年4月14日(土)～5月20日(日)

主催：関西大学大阪都市遺産研究センター

協力：オダサク倶楽部

(2) タイトル：「戦争の記録と表象：火野葦平—日本・アジア・ヨーロッパ—」

会期：平成24年9月13日(水)～9月22日(土)

主催：東西学術研究所 日本文学・芸能研究班



## 8 平成24年度文部科学省私立大学等研究設備整備費等補助

図書館関係の申請については、図書委員会で選定して次の1件が採択された。

(1) 特別設備

「聖語蔵経巻」

## 9 図書館の刊行物等

(1) 『図書館利用案内』2012年版をA5判2分冊に変更して編集発行

(2) 『ガイドブック 文献のさがし方から入手まで』2012年度版(増補版)を発行

(3) 本誌第17号を発行し、図書館ウェブサイトにて公開(第15号より冊子による刊行は中止した)

(4) KULione (Kansai University Library's info for Everyone) の発行

今年度より、図書館からの情報発信機能を強化する目的で、学生を対象としたリーフレットを年2回発行し、図書館及び図書に関する最新情報を提供している。平成24年10月に創刊号を発行した。



## 図書館展示会報告

### 日・EU フレンドシップウィーク展示

「LOVE LETTER from EUROPE  
ヨーロッパ著名人たちのラブレター」  
平成 24 年 5 月 28 日(月)～6 月 11 日(月)

#### 概要

「日・EU フレンドシップウィーク」は、日本における欧州連合 (= European Union 以下、EU) の認知度向上を目的として、毎年 5 月 9 日の「ヨーロッパ・デー」を中心に、駐日欧州連合代表部の後援のもと、全国の EU 情報センター (= European Info 以下、EUi) がさまざまな催しを実施するものである。本学も EU ならびに EUi を学内外に広報するべく、ヨーロッパにちなんだ展示を総合図書館 1 階展示室において開催した。

#### 展示内容

欧州連合 (もしくは現在の欧州連合加盟国の前身国) 出身の偉人が書いたラブレターの訳文から一部を抜粋し、人物紹介を添えて展示した。紹介した人物は、カフカやベートーベンなど総勢 23 名。そのほか、EUi の紹介ポスターや欧州旗などを掲示した。



展示室



資料展示 (左) サン＝テグジュペリ (右) EUi 資料

## 図書館出版物案内

### 1 冊子目録等

- 細江文庫目録……450円  
わが国英語学界の重鎮、故細江逸記の旧蔵書目録。
- 大阪関係資料目録……650円  
昭和35年1月1日現在所蔵の大阪府、市関係の図書・地図・近世文書・堂島文書・芝居番付・明治中期広告の総合目録。
- 生田文庫・額原文庫目録……非売品  
在野の万葉集研究家故生田耕一の旧蔵書の一部と、故額原退蔵旧蔵書の目録。
- 吉田文庫目録……1,300円  
元トルコ駐在特命全権大使であった故吉田伊三郎の旧蔵書目録。
- 岩崎美隆文庫・五弓雪窓文庫目録……1,500円  
江戸時代末期の国学者岩崎美隆の旧蔵書目録と、幕末の漢学者五弓雪窓の旧蔵書目録。
- 増田涉文庫目録……6,000円  
わが国魯迅研究の第一人者であった元文学部教授故増田涉の旧蔵書目録。魯迅の全著作の初版本他。
- 矢口文庫目録……2,700円  
本学の元学長で、イギリス経済史学界の重鎮であった故矢口孝次郎の旧蔵書目録。
- 極東国際軍事裁判資料目録……非売品  
極東国際軍事裁判における検察側及び弁護側提出の書証と関係資料の目録。
- 泊園文庫蔵書書目ならびに索引の部……品切  
幕末の浪速私学「泊園書院」の旧蔵書目録。
- 近世文書目録  
その一……1,350円、その二……2,000円  
大阪周辺の庄屋文書を核に、ほぼ全国各地の近世文書を加えたコレクション。
- 大阪文芸資料目録……3,500円  
明治以降の、大阪にゆかりのある作家・画家・芸能人

などの作品や大阪を題材とした作品などの本学所蔵コレクションの目録。

- 内藤文庫漢籍古刊・古鈔目録……2,500円  
内藤湖南・伯健父子旧蔵書の一部善本類の目録。
- 内藤文庫リスト No.1～No.5…非売品（ただし、No.1は在庫なし）
- 芝居番付目録……8,000円  
大阪を中心とする宝暦から昭和に至る歌舞伎、浄瑠璃等の芝居番付約6,500点の目録。
- 大坂画壇目録……品切
- 摂津国嶋上郡高浜村西田家文書目録……非売品
- 河内国丹北郡六反村谷川家文書目録……非売品
- 摂津国住吉郡中喜連村佐々木家文書目録……非売品
- 和泉国大鳥郡豊田村小谷家文書目録……非売品
- 和泉国大鳥郡岩室村中林家文書目録……非売品

### 2 CD-ROM版

- 内藤文庫目録 KUL-bijou……非売品

### 3 図書館出版図書

- 江戸書状（全三巻）  
旗本鈴木家と庄屋西田家との往復書簡集  
第一巻（天保七年から弘化四年）……品切  
第二巻（嘉永元年から安政六年）……品切  
第三巻（万延元年から明治元年）……品切
- おおさか文藝書画展 図録……2,000円  
平成6年9月、図書館創設80周年記念・文学部創設70周年記念として開催した「おおさか文藝書画展—近世から近代へ—」の図録
- 展示目録 大坂の書と画と本……1,000円

以上

## 平成24年度に制定及び改正のあった図書館諸規程

### 図書館規程

平成24年10月1日改正分

関西大学図書館規程改正案の新旧対照表

現行	摘要	改正
<p>関西大学図書館規程 制定 平成13年7月12日</p> <p>第1条～第2条 &lt;省略&gt;</p> <p>(図書館長)</p> <p>第3条 図書館に図書館長を置く。</p> <p>2 図書館長は、図書館を代表し、図書館の業務を統括する。</p> <p>3 図書館長は、学長が教授のうちから理事会に推薦し、理事会が任命する。</p> <p>4 図書館長の任期は、<u>3年</u>とし、再任を妨げない。</p> <p>5 図書館長が欠けたときは、補充しなければならない。この場合において、後任者の任期は、前任者の残任期間とする。</p> <p>第4条～第10条 &lt;省略&gt;</p>	<p>文言の修正</p> <p>附則の追加</p>	<p>関西大学図書館規程 制定 平成13年7月12日</p> <p>第1条～第2条 &lt;省略&gt;</p> <p>(図書館長)</p> <p>第3条 図書館に図書館長を置く。</p> <p>2 図書館長は、図書館を代表し、図書館の業務を統括する。</p> <p>3 図書館長は、学長が教授のうちから理事会に推薦し、理事会が任命する。</p> <p>4 図書館長の任期は、<u>4年</u>とし、再任を妨げない。</p> <p>5 図書館長が欠けたときは、補充しなければならない。この場合において、後任者の任期は、前任者の残任期間とする。</p> <p>第4条～第10条 &lt;省略&gt;</p> <p><u>附 則</u></p> <p><u>この規程(改正)は、平成24年10月1日から施行する。</u></p>

## 『図書館フォーラム』投稿要項

制定 平成 8 年 3 月 31 日

『大学図書館研究』の原稿募集要項に準じて、概要を次のように定める。

### (1) 原稿執筆者の範囲

原則として、依頼記事・寄稿記事いずれの場合も、本学の教育職員並びに本学図書館所属の職員を執筆者とする。

### (2) 原稿の内容

次のいずれかで、執筆者自身の未発表原稿とする。

- ア 研究論文・研究ノート
- イ 図書館に関する調査・意見
- ウ 本学所蔵資料の紹介
- エ 図書館職員のレポート
- オ その他図書館に関する記事

### (3) 取 載

寄稿原稿が予定の紙幅を超える件数があったときは、取載順序を図書館長が決める。

### (4) 謝 礼

依頼記事の執筆者（図書館職員は除く）には、若干の謝礼を贈呈する。ただし、抜刷は提供しない。

### (5) 投稿先

関西大学図書館事務室 (TEL 06-6368-1157)  
電子メール (lib-ent@ml.kandai.jp)

### (6) 執筆要領

- ア 本誌 1 ページにつき 2,070 字相当とする。
- イ 原稿は横書き、電子メールまたはフロッピーでの提出を原則とし、手書き原稿も可とする。
- ウ 電子メールまたはフロッピーで提出する場合は、プレーンテキスト (txt) 形式もしくはワープロ (Word) 形式を原則とする。
- エ ワープロを使用の場合は、1 行を 23 字とし 45 行を 1 ページとして設定する。
- オ 本文中に図・表または写真を掲載する場合は、その相当分の字数を割愛する。
- カ 原稿は次の順に記載する。
  - ① 標題、② 執筆者名、③ 本文、④ 注記、⑤ 引用文献、⑥ 参考文献、および⑦ 執筆者名の読みがな・職名
- キ 原稿の表記は、次に従うものとする。
  - ① 漢字は原則として常用漢字を用い、新かなづかいによる。書誌学的な理由などから、特に旧字体を使用する必要がある場合は、原稿用紙の右欄外にその旨を記す。また、欧文原稿を除き句読点は「。」、「、」を用いる。
  - ② 数字は、引用文および漢語の一部として漢数字が習慣

的となっている場合を除き、原則としてアラビア数字を用いる。

### ③ 引用文献、参考文献の記載方法は、次のとおりとする。

#### a. 雑誌論文の場合

筆者名 “論文標題” 『雑誌名』 巻 (号)、年月、ページ

#### b. 図書の中の一部引用の場合

著者名 “論文標題” 『書名』 (図書の著編者名) 出版地、出版者、出版年、ページ

#### c. 図書の場合

著者名 『書名』 出版地、出版者、出版年

#### d. 欧文の場合は、著者名を転置形として、雑誌名または書名には『 』を付さずにアンダーラインで示す (印刷では、イタリック体活字になる)。

[例] Downs, Robert B. “How to start a library school.” *ALA Bulletin* 52 (6), 1995.6, pp.32-48.

#### e. インターネット上の文献

著者名 “文献標題” [参照年月日] (URL)

[例] 永沼博道 “21 世紀の大学図書館に向けて—伝統と現代化の相克” [参照 2003.1.20]  
(URL [http://web.lib.kansai-u.ac.jp/library/about/lib\\_pub/forum/2002\\_vol7/2002\\_01.pdf](http://web.lib.kansai-u.ac.jp/library/about/lib_pub/forum/2002_vol7/2002_01.pdf))

ク 図・表は、図 1、図 2、表 1、表 2、fig. 1 のように記す。図または表を電算等で出力したものをそのまま使用するとき、鮮明なものを用いる。写真は出来るかぎりモノクロームを用いる。図、表、写真には、その裏に執筆者名、標題、図 1、図 2、表 1、表 2 のように番号を鉛筆書きのこと。

ケ 校正は、初校を執筆者に依頼し、再校以降は図書館が行うことを原則にするが、必要のある場合は、再校以降についても執筆者の協力を得るものとする。

### (7) 掲載した著作物の電子化と公開許諾について

本誌に掲載した著作物の著作権は執筆者に帰属するが、次の事項について執筆者はあらかじめ了解するものとする。

ア 関西大学図書館ウェブサイトにて公開されること

イ 国立国会図書館が行う電子メディアに収録されること

以 上

〈平成 21 年 12 月 1 日改正〉